

.....

館園名 : 広島県立美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 平成8年10月

所在地

- ・ 〒730-0014 広島県広島市中区上幟町2-22

公式サイト

- ・ <http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/>

設立主体

- ・ 広島県

運営主体

- ・ 広島県

設立目的

- ・ 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資する。

展示概要

- ・ 美術資料4,026点（日本画320点、油彩画743点、水彩画142点、素描346点、パステル画7点、版画416点、拓本77点、平面造形60点、彫塑79点、工芸1,360点、書94点、美術資料382点）。
- ・ ①広島県ゆかりの美術、②1920-30年代の美術、③日本を含むアジアの工芸の、3方針を中心に各分野にわたって収集。5つの展示室を使い、年4回展示替えをして常設展示している。

活動概要

- ・ 古美術から現代美術まで、国内外の美術品による特別展を開催。
- ・ 講演会、美術講座、ギャラリートーク、ボランティアガイド、ロビーコンサートを実施。
- ・ 展覧会図録、年報、研究紀要を発行。

延床面積

- ・ 19,926 m²

全職員数

- ・ 17人

年間運営費

- ・ 5億6000万円

総資料点数

- ・ 美術資料4,026点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：広島県立美術館友の会ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1997年4月、活動開始。
- ・ 広島県立美術館友の会会員有志のボランティアで友の会を運営している。徹底した主体性を保って会を運営しており、美術館から自立した会である。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 135名（2005年）
- ・ 男：女＝3：7（2005年）
- ・ 平均年齢61歳：男性64歳、女性60歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：友の会事務局 担当人数：常勤0名

活動の種類

- ・ ①総務グループ、②サポートグループ、③編集グループ、④企画グループ、⑤ガイドグループ、⑥資料整理グループ、⑦ホームページグループ。

活動その他

- ・ ボランティアの核となる後継者をいかに育成するか。

関連する出版物

- ・ 友の会会報『色絵馬』（現在31号、2005年4月）

関連するHP

- ・ 広島県立美術館友の会ホームページ <http://homepage3.nifty.com/iroeuma/>

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 友の会自体が館外組織である。

活動個別シート ①総務グループ

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 23名(2005年)

◇活動内容

- ・ 友の会のすべての活動統括。会員証の発行手続き。前売り券販売。会計処理・毎月の収支計算書作成・決算事務。

◇活動日

- ・ 火・木の14:00-17:00。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会事務室がある。予算も友の会で決定・執行している。

◇運営(シフト 等)

- ・ 事務局は、毎週火・木曜日の午後を開室。会員有志により運営。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ グループ会議を、毎月1回実施。友の会会報を、年4回発行。美術情報、友の会ニュースを毎月発行。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 定期的に一般公募。定年制、任期制なし。
- ・ 入会時にボランティアの希望を聞き、年度初めに友の会ボランティア説明会を開き、希望者は各グループに登録する。募集のあるグループに参加できる。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティア相互で研修を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。交通費・食費などの支給はなし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②サポートグループ

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 50名(2005年)

◇活動内容

- ・ 月一回不定日で電話連絡で集合。友の会、美術館の各種発送。特別展のポスター・チラシの配布。宛名書き。

◇活動日

- ・ 火・木の14:00-17:00。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会事務室がある。予算も友の会で決定・執行している。

◇運営(シフト 等)

- ・ 事務局は、毎週火・木曜日の午後を開室。会員有志により運営。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ グループ会議を、毎月1回実施。友の会会報を、年4回発行。美術情報、友の会ニュースを毎月発行。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 定期的に一般公募。定年制、任期制なし。
- ・ 入会時にボランティアの希望を聞き、年度初めに友の会ボランティア説明会を開き、希望者は各グループに登録する。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティア相互で研修を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 交通費・食費などの支給はなし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③編集グループ

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 13名(2005年)

◇活動内容

- ・ 年4回、会報を発行。
- ・ 会報の企画・原稿依頼・レイアウト・印刷の発注・発送など。

◇活動日

- ・ 木の14:00～、不定期。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会事務室がある。予算も友の会で決定・執行している。

◇運営(シフト 等)

- ・ 事務局は、毎週火・木曜日の午後を開室。会員有志により運営。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ グループ会議を、毎月1回実施。友の会会報を、年4回発行。美術情報、友の会ニュースを毎月発行。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 定期的に一般公募。定年制、任期制なし。
- ・ 入会時にボランティアの希望を聞き、年度初めに友の会ボランティア説明会を開き、希望者は各グループに登録する。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティア相互で研修を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。交通費・食費などの支給はなし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ④企画グループ

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 16 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 友の会の活動（講演会・旅行・ハイビジョン番組上映会など）を計画・準備・実行。

◇活動日

- ・ 木の 13:30～、不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 友の会事務室がある。予算も友の会で決定・執行している。

◇運営（シフト 等）

- ・ 事務局は、毎週火・木曜日の午後を開室。会員有志により運営。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ グループ会議を、毎月 1 回実施。友の会会報を、年 4 回発行。美術情報、友の会ニュースを毎月発行。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 定期的に一般公募。定年制、任期制なし。
- ・ 入会時にボランティアの希望を聞き、年度初めに友の会ボランティア説明会を開き、希望者は各グループに登録する。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ボランティア相互で研修を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。交通費・食費などの支給はなし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤ガイドグループ

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 20 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 開館日の午後 2 時から 2 階の所蔵作品展でガイドを実施する

◇活動日

- ・ 開館日毎日 14:00～。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会事務室がある。
- ・ 予算も友の会で決定・執行している。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 事務局は、毎週火・木曜日の午後を開室。
- ・ 会員有志により運営。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ グループ会議を、毎月 1 回実施。
- ・ 友の会会報を、年 4 回発行。
- ・ 美術情報、友の会ニュースを毎月発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 定期的に一般公募。定年制、任期制なし。
- ・ 入会時にボランティアの希望を聞き、年度初めに友の会ボランティア説明会を開き、希望者は各グループに登録する。
- ・ 今年度 5 回目の募集を行う (受講生 25 人予定)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年 4 回の展示替えごとに所蔵作品展内容についての研修を美術館学芸員が行う。
- ・ ボランティア相互で研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。交通費・食費などの支給はなし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥資料整理グループ

◇活動開始年

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 7 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 美術館学芸課に届いた資料・書籍などを種類ごとに分類整理し、書庫に収納する作業を行う。

◇活動日

- ・ 水 13:00-16:00

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会事務室がある。予算も友の会で決定・執行している。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 事務局は、毎週火・木曜日の午後に開室。会員有志により運営。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ グループ会議を、毎月 1 回実施。友の会会報を、年 4 回発行。美術情報、友の会ニュースを毎月発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 定期的に一般公募。定年制、任期制なし。
- ・ 入会時にボランティアの希望を聞き、年度初めに友の会ボランティア説明会を開き、希望者は各グループに登録する。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティア相互で研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。交通費・食費などの支給はなし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑦ホームページグループ

◇活動開始年

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 6 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 友の会ホームページを作成・公開する。
- ・ 美術館ホームページ作成補助 (テキストベタ打ちなど) を行う。

◇活動日

- ・ 不定 (美術館ホームページ作成補助は現在年 1 回程度)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会事務室がある。予算も友の会で決定・執行している。作業に使用するパソコンは各自で調達する。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 事務局は、毎週火・木曜日の午後に開室。会員有志により運営。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ グループ会議を、毎月 1 回実施。友の会会報を、年 4 回発行。美術情報、友の会ニュースを毎月発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 定期的に一般公募。定年制、任期制なし。
- ・ 入会時にボランティアの希望を聞き、年度初めに友の会ボランティア説明会を開き、希望者は各グループに登録する。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティア相互で研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。交通費・食費などの支給はなし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 広島県立歴史博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1989年11月03日

所在地

- ・ 〒720-0067 広島県福山市西町2-4-1

公式サイト

- ・ <http://www.manabi.pref.hiroshima.jp/rekishi/>

設立主体

- ・ 広島県教育委員会

運営主体

- ・ 広島県教育委員会

設立目的

- ・ 郷土の歴史に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため。
(広島県立歴史博物館設置条例第1条より)

展示概要

- ・ 常設展示では福山を流れる芦田川の川底に埋もれた中世の町「草戸千軒町遺跡」を中心に広く瀬戸内の歴史と文化に視点を当て、瀬戸内の民衆生活を主題としており、通史展示室「瀬戸内の歴史をたどる」、草戸千軒Ⅰ展示室「よみがえる草戸千軒」、草戸千軒Ⅱ展示室「出土品はかたる」から成る。
- ・ 企画展示室では春・秋に企画展、その他に特別展や部門展及び他団体共催展等を開催。

活動概要

- ・ 調査研究 草戸千軒町遺跡を中心に瀬戸内海地域、広島県の歴史と文化に関する調査研究。
- ・ 資料の収集・保管 考古・歴史・民俗・美術工芸に関する資料を収集・保管。
- ・ 学習支援 広く県民が郷土の歴史や文化等について理解を深めてもらう機会を提供する。

延床面積

- ・ 8,940.63㎡

全職員数

- ・ 11人（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 約100,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 25,455点（2003年03月現在）

施設その他

- ・ 地下1階 地下2階 鉄筋コンクリート造。
- ・ 地下 講堂、収蔵庫、保存処理室、中央監視室、機械室等。
- ・ 1階 事務室、研究室、ボランティア室、企画展示室、研修室、写場、燻蒸室等。
- ・

2. ボランティア活動 名称：けんぱくボランティア

活動目的・経緯

- ・ 県民の生涯学習を支援し、活動の場を提供することを目的として、ボランティアを受け入れることとする。(ボランティア設置要項1)

活動人数(総数、男女比、年齢構成)

- ・ 82名(2005年01月現在) ※登録人数
- ・ 男性:26名、女性:56名
- ・ 平均年齢 52.7歳:男性 52.9歳、女性 52.1歳

ボランティア担当職員(2005年01月現在)

- ・ 部局名称:学芸課・草戸千軒町遺跡研究所
- ・ 担当人数:常勤職員 3名・その他() 0名

活動の種類(種類別にご記入願います)

- ・ 展示解説。
- ・ 図書。
- ・ 資料(古文書・備後緋・考古)。

活動その他(活動全体に関わる特記事項など)

- ・ 学習会年4回
6月:新規参加者合同学習会、9月:臨地学習会、12月:意見交流学習会、
3月:公開講演会。
- ・ ワークショップボランティア
夏休み特別企画展示におけるこども向けワークショップで活動。毎年期間限定で募集。

関連する出版物

- ・ 広島県立歴史博物館ボランティアアクションプラン(2002年度)

関連するHP

- ・ <http://www.manabi.pref.hiroshima.jp/rekishih/>

館外組織(NPO等)との連携(館内ボランティア以外での連携など)

- ・ なし

活動個別シート 活動名：①解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 40名（2005年01月現在）※登録人数、他活動兼務あり

◇活動内容

- ・ 展示解説。

◇活動日

- ・ 日曜日（一部土曜日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 連絡費、名札、スタッフジャンパー、ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各自の活動可能日に随時。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話役会（企画担当→学習会企画、広報担当→情報紙発行）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年3月末よりニュース、HP、マスコミなどで募集を広報（定員なし）。
- ・ 資格：18歳以上、事前学習会に参加できる人。
- ・ 定年制なし。任期2年（更新あり）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前学習会（職員による養成講座）、6回。
- ・ 学習会。
- ・ ボランティアの自主学習会（不定期）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険費用を館が負担。
- ・ 特別展（実行委員会形式）を除く展示の入館料免除。

◇評価

- ・ 未実施。

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーが特定化する傾向あり。
- ・ 2004年度に企画展展示解説を試験的に開始、今後本格実施を検討中。

◇その他

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：②図書

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000年

◇活動人数

- ・ 19名（2005年01月現在）※登録人数、他活動兼務あり

◇活動内容

- ・ 寄贈図書整理。
- ・ ポスター・チラシの掲示。
- ・ 新聞記事の切り抜き。

◇活動日

- ・ 水曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 連絡費、名札、ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各自の活動可能週に随時。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話役会（企画担当→学習会企画、広報担当→情報紙発行）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年3月末よりニュース、HP、マスコミなどで募集を広報（定員なし）。
- ・ 資格：18歳以上、事前学習会に参加できる人。
- ・ 定年制なし。任期2年（更新あり）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前学習会（職員による養成講座）、6回。
- ・ 学習会。
- ・ ボランティアの自主学習会（不定期）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険費用を館が負担。
- ・ 特別展（実行委員会形式）を除く展示の入館料免除。

◇評価

- ・ 未実施。

◇課題と展望

- ・ 活動内容に対して少ない実働人数。

◇その他

- ・ なし

活動個別シート 活動名：③資料

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000年（古文書・緋）、2002年（考古）

◇活動人数

- ・ 40名（2005年01月現在）※登録人数、他活動兼務あり

◇活動内容

- ・ 展示解説。

◇活動日

- ・ 日曜日（一部土曜日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 連絡費、名札、スタッフジャンパー、ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各自の活動可能日に随時。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話役会（企画担当→学習会企画、広報担当→情報紙発行）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 古文書・考古は館主催学習会（会員制）参加者から募集。
- ・ 緋は地域の経験者に委嘱。
- ・ 定年制なし。任期2年（更新あり）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前学習会（職員による養成講座）、6回。
- ・ 学習会。
- ・ ボランティアの自主学習会（不定期）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険費用を館が負担。
- ・ 特別展（実行委員会形式）を除く展示の入館料免除。

◇評価

- ・ 未実施。

◇課題と展望

- ・ 新規に活動参加できるシステムの確立。

◇その他

- ・ なし。

.....

館園名 : 広島県立歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1979年04月28日

所在地

- ・ 〒729-6216 広島県三次市小田幸町122

公式サイト

- ・ <http://www.manbi.pref.hiroshima.jp/rekimin/imdex.html>

設立主体

- ・ 広島県

運営主体

- ・ 広島県

設立目的

- ・ 文化財に対する県民の知識及び教養の向上を目的とする。

展示概要

- ・ 常設展では、県北部を中心に県内の旧石器時代～奈良・平安時代にかけての考古資料を展示。
- ・ 企画展示室では、考古・歴史・民俗に関する展示を春・夏・秋の3回に分けて実施。

活動概要

- ・ 展示活動は年3回（春の展示、夏の展示、秋の特別展）。
- ・ 文化財講座年6回、歴史トーク年4回、ふどきの丘体験教室年7回。
- ・ 歴風ボランティア研修講座年6～7回。

延床面積

- ・ 3712.40 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 7名（2005年1月現在）

年間運営費

- ・ 約60,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 10,626点（2004年10月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：歴風ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 常設展示の解説ボランティア活動を通して、参加者の学習の深化と地域社会・文化への貢献の場を提供することを目的としている。
- ・ 2002（H14）年度に歴風ボランティア研修講座を開始、次年度の2003年（H15）年度から解説ボランティア活動を始め、現在2年にあたる。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 16名（2005年01月現在）
- ・ 男性：12名、女性：4名
- ・ 平均年齢62.7歳：男性66.8歳、女性50.5歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 常設展示の解説。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 歴風ボランティア研修講座（1年間）修了者で、ボランティア活動を希望する方の中から、館長が委嘱する（1年更新）。現在4班あり、各班から世話人を選出し、その世話人とボランティア担当職員の合議により運営している。

関連する出版物

- ・ なし。

関連するHP

- ・ <http://>なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート 活動名：①常設展示の展示解説（解説ボランティア）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 16 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展示の展示解説（10：00～15：00）。

◇活動日

- ・ 休館日以外の毎週日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 個別のボランティア室があり、関連図書等も揃えるようにしている。

◇運営（シフト 等）

- ・ 全体を 4 班に分けて年間のスケジュールを決め、1 班 4 年前後で解説を行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 各班に世話人を設けて必要に応じて協議、決定事項は事務局（担当学芸員）からハガキ等で全員に連絡する。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 4 月～5 月に、マスコミなどの募集案内を広報して募集（20 名）。
- ・ 資格は 18 才以上で、1 年間の「歴風ボランティア研修講座」を受講・修了した方。
- ・ 定年制は無く、一年ごと委嘱する。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 歴風ボランティア研修講座は年間 6～7 回程度行い各期は自己研修期間としている。
- ・ 解説ボランティアには、年間で 1～2 回程度、歴風ボランティア講座参加者との合同研修を施している。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 解説ボランティア、歴風ボランティア研修講座参加者の全員に館でボランティア保険に加入している。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 歴風ボランティア（現在は解説活動のみ）の自主的な運営のための体制作りを参加者全員で検討中である。
- ・ 研修講座を含めた、歴風ボランティアへの参加者数が減少傾向にある。

◇その他

- ・ 解説ボランティアの解説を利用された見学者の反応が極めて良好である。

.....

館園名 : 広島市交通科学館

1. 施設の概要

開館年月日

・ 1995 年 03 月 18 日

所在地

・ 〒731-0143 広島県広島市安佐南区長楽寺 2-12-2

公式サイト

・ <http://www.vehicle.city.Hiroshima.jp/>

設立主体

・ 広島市

運営主体

・ 広島市文化財団

設立目的

・ 情操・科学教育に資する乗り物と交通を専門かつ総合的に扱う科学館として設置。

展示概要

・ 陸海空の乗り物模型 2,000 点、近未来の都市交通システムを表す直径 20m の巨大パノラマ、およびこれに関するコンピュータ検索装置等による情報資料を展示。

活動概要

・ 企画展示・教室講座・ライブラリー事業のほか、屋外広場でのおもしろ自転車貸し出しを実施。

延床面積

・ 7,178 m²

全職員数

・ 15 名 (2004 年 12 月現在)

年間運営費

・ 390,894 千円 (2003 年度) (施設管理運営費 353,749 千円、事業費 37,145 千円)

総資料点数

・ 約 3,000 点 (2004 年 12 月現在)

その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

① 名称：ちびっこ教室インストラクター

- ・ 平成6年度より
- ・ 乗り物と交通に関する市民の興味と関心を高めるとともに、乗り物と交通に対する理解を深めるための場を提供する。
- ・ 生涯学習の一環としてのボランティア活動の場を設けることにより生涯学習の充実を図り、地域社会における生涯学習を援助する指導的人材の育成をする。
- ・ 造形的創作活動を行う中で、大人と幼児・児童双方の人格形成を図る。

② 名称：ピークルランドボランティア

- ・ 平成9年度より
- ・ ボランティア育成事業として、本事業の企画・運営、幼児に対する折り紙や簡単な工作の指導を通じた、市民への生涯学習の場の提供。
- ・ 幼児向けに乗り物おもちゃなどの遊びを通して、親子や他の参加者、ボランティアなどとの交流を深め、乗り物・交通への興味を深めてもらうこと。

③ 名称：託児ボランティア

- ・ 平成7年度より
- ・ 乗り物と交通に関する市民の興味と関心を高めるとともに、乗り物と交通に対する理解を深めるための場を提供する。
- ・ 市民が豊かな教養を身につけるため、造形的な創作活動を行う。
- ・ 実施初年度には託児サービスはなかったが、2年目より行っている。理由は①講座開催日時の関係からか家庭の主婦層の参加者も多く、幼い子どもたちと同席しての工作教室への参加には安全上、問題がある②参加者全体が講座に集中して取り組めない等である。

活動人数（男女比、年齢構成）

<総数>107名 男性：15名、女性：92名

①ちびっこ教室インストラクター

- ・ 68名（2004年12月現在）
- ・ 男性：9名、女性：59名
- ・ 平均年齢34.7歳：男性53.6歳、女性32.7歳

②ピークルランドボランティア

- ・ 21名（2004年12月現在）
- ・ 男性：6名、女性：15名
- ・ 平均年齢31.3歳：男性50.3歳、女性23.0歳

③託児ボランティア

- ・ 18名（2004年12月現在）
- ・ 男性：0名、女性：18名
- ・ 平均年齢（不明）歳：男性 歳、女性（不明）歳

ボランティア担当職員

・ 部局： 教育普及係 担当人数：常勤 1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ① 工作教室の運営
- ② 遊びの広場運営
- ③ 託児

活動その他

- ①ちびっこ教室インストラクター
 - ・ 幼児～小学校低学年（保護者同伴）を対象とした「動く」仕組みをテーマにしたおもちゃ作り
 - ・ 登録ボランティア3名1組による工作教室の企画・運営を行う
- ②ピークルランドボランティア
 - ・ 自由に乗り物おもちゃで遊べるコーナーにおける指導及び会場整理
 - ・ 会場の一角に折り紙や竹とんぼなどを作るコーナーを常設し、簡単な工作の指導
- ③託児ボランティア
 - ・ 1才6ヶ月以上の託児

関連する出版物

なし

関連するHP

なし

館外組織（NPO等）との連携

なし

活動個別シート ①工作教室の運営

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 68 名 (2004 年 12 月現在)

◇活動内容

- ・ 工作教室 (幼児・小学校 1、2 年生を対象) の運営 (内容の決定から指導まで)。

◇活動日

- ・ 日曜日、祝日、土曜日等の実施日 (年間 45 回) のうち 2・3 回

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア謝礼金として、年間に 243,000 円計上している。
- ・ ボランティア室はないが、職員の部屋に関連書籍を揃えている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 3 人一組で企画・運営を行う。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 日程打合せ会を年 4 回実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年、1 月頃からホームページ、市政広報紙などに募集要項を掲載して募集を行う (10~20 名程度)。
- ・ 資格: 18 歳以上の方 (高校生は不可)。
- ・ 定年制なし。任期 1 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年 2 回実施。(工作実技研修と講演)

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、食費を含む必要経費として一律支給。
- ・ 全員市民活動保険に加入している。(費用は市が負担)

◇評価

- ・ なし

◇課題と展望

- ・ 人気事業であるが、ボランティアの絶対数が減少傾向にあり、実施回数を制限せざるを得ない。
- ・ ボランティア暦の長い方は、企画段階での労力が負担に感じられつつある。

◇その他

- ・

活動個別シート ②遊びの広場の運営

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 21 名 (2004 年 12 月現在)

◇活動内容

- ・ 自由に乗り物おもちゃで遊べるコーナーにおける指導及び会場整理
- ・ 会場の一角に折り紙や竹とんぼなどを作るコーナーを常設し、簡単な工作の指導

◇活動日

- ・ 日曜日の実施日 (年間 15 回) のうち 2・3 回

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア謝礼金として、年間に 81,000 円計上している。
- ・ 関連書籍・玩具を揃えている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 3 人一組で運営を行う。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 日程打合せ会を年 2 回実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年、1 月頃からホームページ、市政広報紙などに募集要項を掲載して募集を行う (数名)。
- ・ 資格: 18 歳以上の方 (高校生は不可)。
- ・ 定年制なし。任期 1 年 (更新あり)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年 2 回実施。(工作実技研修と講演)

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、食費を含む必要経費として一律支給。
- ・ 全員市民活動保険に加入している。(費用は市が負担)

◇評価

- ・ なし

◇課題と展望

- ・ 若い方の定着 (若い方ほどボランティアの更新をしない傾向にある)

◇その他

- ・

活動個別シート ③託児

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 18 名 (2004 年 12 月現在)

◇活動内容

- ・ 1 才 6 ヶ月以上の託児。

◇活動日

- ・ 年 5 回

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア謝礼金として、年間に 63,000 円計上している。
- ・ ボランティア室はないが、必要な玩具を揃えている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 回につき 7 人で行う。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ なし

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 特にしていない。毎年更新で、新規は紹介により登録している。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年 2 回実施。(工作実技研修と講演)

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、食費を含む必要経費として一律支給。
- ・ 全員市民活動保険に加入している。(費用は市が負担)

◇評価

- ・ なし

◇課題と展望

- ・ 平日に大人向けの事業をする際、不可欠になっている。今後もニーズは高まるであろう。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 広島市こども文化科学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1980年05月01日

所在地

- ・ 〒730-0011 広島県広島市中区基町5-83

公式サイト

- ・ <http://www.pyonta.city.hiroshima.jp/>

設立主体

- ・ 広島市

運営主体

- ・ 財団法人広島市文化財団

設立目的

- ・ ①子ども達の「みる、ふれる、ためす、つくる、たしかめる」という体験的な方法や展開の中から、科学する心、文化を創造する心を育てる、②余暇利用の習慣性を養う、③子ども達のための社会教育施設であるとともに、学校教育、家庭教育と相互に補完する三者の有機的連携を促進する、という3点を基本にして各種の事業を実施。

展示概要

- ・ 感覚の科学＝大型複合科学展示「たんけんとりで」。
- ・ 基本の科学＝ピョン太とかけっこ（速度体感）、レーザーゲームなどからなる「天空の夢の国」。
- ・ 応用の科学＝ありさんの目、空気の流れなど、ハイパースタジアムなどからなる「サイテック博士の研究室」
- ・ 天文の科学＝太陽望遠鏡など。

活動概要

- ・ プラネタリウム（一般投影、星座投影、学習投影、幼児向け投影）や、企画展の開催。
- ・ 科学教室、創作教室、サイエンスショー、ワークショップたのしい工作室、土曜科学談話室、こども劇場、こども音楽会を開催。
- ・ サークル活動（プラネタリウムクラブ、アマチュア無線クラブ、発明クラブ）を実施。
- ・ 館だより、研究紀要を発行。

延床面積

- ・ 4,683 m²

全職員数

- ・ 16名

年間運営費

- ・ 79,759千円（2004年度）

総資料点数

- ・ 展示約70点（自作展示品を含む）

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：ワークショップたのしい工作室インストラクター

活動目的・経緯

- ・ 主に、紙や木、リサイクル材料など、身近材を用いて、30分程度で完成する、比較的初歩の創作活動の場を提供するとともに、ボランティアの指導者を広く市民から募集し、館への運営参加の場を提供し、ボランティアの育成を図る。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 68名（2004年）
- ・ 男性：22名、女性：46名（2004年）
- ・ 平均年齢43歳：男性53歳、女性38歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：事業・たのしい工作室 担当人数：常勤1名・その他（嘱託）2名

活動の種類

- ・ ①ワークショップのインストラクター。

活動その他

・

関連する出版物

- ・ 研究紀要「すばる」

関連するHP

- ・ <http://www.pyonta.city.hiroshima.jp/>（広島市こども文化科学館HP）

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①ワークショップのインストラクター

◇活動開始年

- ・ 1988 年

◇活動人数

- ・ 68 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 幼児～小学校低学年と、その保護者を対象とした工作教室(ワークショップたのしい工作室)で、紙や木などの身近な材料を使って 30 分程度でできる工作の指導、および教室の運営を行う。

◇活動日

- ・ 日曜日、第 2 土曜日、祝日を中心に活動。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 活動経費として年間 216,000 円、備品費として 13,000 円を計上。

◇運営(シフト 等)

- ・ スケジュールの調整、活動内容の管理は、自主的に実施。
- ・ 年 4 階の打合会で、3 ヶ月ごとの担当者を決め、2 人ないし 3 人 1 組で、1 回の教室を担当する。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 打合せ会を、年 4 回、3 ヶ月ごとに実施。
- ・ インストラクター通信を、毎月発行。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 1 月上旬に、「科学館だより」、市の広報誌などによって募集。資格：18 歳以上。
- ・ 1 年ごとに更新。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 年 4 回の打合せ会にて、実技講習会を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費+食事代として、1 回 1,800 円を支給(報償費)。
- ・ 広島市市民活動保険制度を利用。

◇評価

- ・ 広島市市民賞を受賞(2003 年)

◇課題と展望

- ・ 外部講師による実技研修や、現地施設の見学を実施することを検討している。
- ・ 登録者数が多く、登録していても実際に活動できていない人もいる。

◇その他

.....

館園名 : 広島市植物公園

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1976年11月03日

所在地

・〒731-5156 広島県広島市佐伯区倉重3-4-59

公式サイト

・<http://www.hiroshima-bot.jp/>

設立主体

・広島市

運営主体

・財団法人 広島市動植物園・公園協会

設立目的

・植物に関する知識の普及と自然保護に関する啓発を図る社会教育の場として、また市民の憩いの場として設立。

展示概要

・大温室をはじめ6つの温室により、熱帯の植物、世界一美しい花と言われる球根ベゴニアフクシアなど一年を通じて様々な花を楽しむことができる。

活動概要

- ・季節の植物をテーマにあわせて展示。
- ・庭木管理入門講座などの実演会、講習会の開催。
- ・自然体験学習などの環境教育。
- ・園芸相談。
- ・外国及び国内の植物園との種子交換。
- ・植物の植生調査、研究。
- ・ボランティアの育成。
- ・植物愛好団体の育成。

延床面積

・183,000 m²

全職員数（常勤職員）

・39名（2004年4月現在）

年間運営費

・510,000,000円（2003年度）

総資料点数

・約11,600種、234,500本（2004年4月現在）

施設その他

・

活動個別シート 活動名：①植物ガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・2001年

◇活動人数

- ・72名（2004年11月現在）

◇活動内容

- ・園内の植物ガイド。

◇活動日

- ・毎週土曜日、日曜日。一部平日とイベント時の祝日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ボランティアルームあり。エアコン、冷蔵庫、湯わかしポット、書籍あり。

◇運営（シフト 等）

- ・月2回の当番を割り当て。

◇交流（情報、組織 等）

- ・例会を2ヶ月に1回行い、情報交換、意見交換、研修の場としている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・不定期に募集（募集時はホームページ、市の広報紙などに掲載）。
- ・資格18才以上、研修に参加でき、月2回の活動が可能なる人。 ・定年制なし、毎年更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・事前研修（職員による養成講座）5回。
- ・2ヶ月に1回の例会時に研修、年2回特別研修と野外観察など。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボランティア保険に加入（費用は園で負担）。 ・駐車料と入園料は無料
- ・交通費、謝礼なし。

◇評価

- ・なし。

◇課題と展望

- ・参加意識に個人差があり、自主性に差がある。 ・当番の決定に苦勞する。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②植物の栽培管理

◇活動開始年（西暦）

- ・2001年

◇活動人数

- ・9名（16年12月現在）

◇活動内容

- ・植物の植付・植替、イベントの準備、手伝い、資料配布、販売、機関紙の発送、植物教室の指導、補助。

◇活動日

- ・植物公園が決めた日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・予算・備品はない。ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・植物友の会例会時に募集。友の会会員ならだれでも可能。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・随時職員がおこなう。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・なし。

◇評価

- ・なし。

◇課題と展望

- ・一部、特定の人にのみが活動している。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 広島平和記念資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1955年08月24日

所在地

- ・ 〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-2

公式サイト

・

設立主体

- ・ 広島市

運営主体

- ・ (財) 広島平和文化センター

設立目的

- ・ 広島平和記念資料館は、原子爆弾による被害の実相を世界の人びとに伝え、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するため広島市により設置された。

展示概要

- ・ 人類史上、例のない原爆被爆の実相を伝える資料 13,000 余点を収蔵。
- ・ 東館：被爆前と被爆後の広島の実相を踏まえた「広島歩み」を展示。
- ・ 西館：被爆現物資料や被爆者の遺品などを展示。

活動概要

- ・ 資料館では、原爆被災資料を中心に、平和関係資料の展示と平和に関する情報収集などの活動を通じて、世界恒久平和を訴えています。

延床面積

・

全職員数

・

年間運営費

・

総資料点数

・

その他

・

2. ボランティア活動 名称：ヒロシマピースボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1999年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 168名 (2005年4月1日現在)
- ・ 男性：54名、女性：114名 (2005年)4月1日現在
- ・ 平均年齢54歳：男性 63.3歳、女性 50.4歳 (2005年)4月1日現在

ボランティア担当職員

- ・ 部局：啓発担当 担当人数：常勤 2名（平日のみ）・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示解説、②慰霊碑解説、③館の事業への参画。

活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ 各曜日に登録し、その曜日に月2回以上活動する。
- ・ 館により運営。
- ・ 月1回、連絡会を開催。
- ・ 幹事会（グループの中で幹事が要望・意見をとりまとめ、グループの意見として協議し、決定する）。
- ・ 全体会（年2回）を開催。
- ・ 不定期に一般公募。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 登録抹消の事由（本人の辞退、長期の体調不良、ボランティアの適格性を欠く）。
- ・ 館が、新規採用者研修と必要時の研修会を実施。
- ・ その他、ボランティアが自主研修会を企画。
- ・ 定点解説を中心に活動しているが、増員することで移動解説の事前予約拡大にもつながる（ただし、予約受付の効率的な方法を見出すことに苦慮している）。

関連する出版物

- ・ 特になし

関連するHP

- ・ 特になし

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 特になし

活動個別シート ①展示解説

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 168 名 (2005 年 4 月 1 日現在)

◇活動内容

- ・ 資料館の展示解説。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 個別のボランティア室がある。
- ・ ユニフォームがあり、夏はポロシャツ、冬はイベント用ブルズンを貸与している。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 日曜日から土曜日まで、それぞれ各曜日に分かれて活動。
- ・ 同時間帯に 2 グループまで事前予約し、当日、余力があれば当日受けもしている。
- ・ 館内案内は 1 グループ 10 名まで受けをしている。
- ・ 活動時間は 10 時～16 時まで (朝夕 30 分はミーティング時間)。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡会を毎月実施。
- ・ 年に 2 回 (夏・冬) に全体会を実施。
- ・ 要望により、幹事会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 不定期に募集。募集の際は、募集要項を市の広報誌に掲載して募集を行う。
- ・ 募集時期は 7 月 15 日～8 月 15 日の 1 ヶ月間。
- ・ 資格は、月 2 回以上活動できる方で、最低 1 年間継続して活動が可能な方。
- ・ 年齢が 18 歳以上である。
- ・ 募集をした年の 10 月から翌年の 3 月まで、月 2 回程度、土曜日の午後に実施する述べ 10 回程度の研修に参加できる人。
- ・ 外国人の場合は、日本語の会話能力を有する。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (講師による養成講座) 8 回、常設展示替えに伴う研修 2 回。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強会を実施 (月 1 回)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費のみ支給 (上限あり)。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 設立当初より人数が増えてきており、事前の予約受入数や外国語対応などをより充実したものにしなければならない。

◇その他

- ・

活動個別シート ②慰霊碑解説

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 168 名 (2005年 4月1日現在)

◇活動内容

- ・ 平和記念公園内の主要な慰霊碑 (10箇所) の解説を行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 個別のボランティア室がある。
- ・ ユニフォームがあり、夏はポロシャツ、冬はイベント用ブルゾンを貸与している。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 日曜日から土曜日までそれぞれ各曜日に分かれて活動。
- ・ 同時間帯に2グループまで事前予約し、当日、余力があれば当日受けもしている。
- ・ 公園内の碑めぐりは1グループ15人まで受けをしている。
- ・ 活動時間は10時~16時まで (朝夕30分はミーティング時間)。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡会を毎月実施。
- ・ 年に2回 (夏・冬) に全体会を実施。
- ・ 要望により、幹事会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 不定期に募集。募集の際は、募集要項を市の広報誌に掲載して募集を行う。
- ・ 募集時期は7月15日~8月15日の1ヶ月間。
- ・ 資格は、月2回以上活動できる方で、最低1年間継続して活動が可能の方。
- ・ 年齢が18歳以上である。
- ・ 募集をした年の10月から翌年の3月まで、月2回程度、土曜日の午後に実施する述べ10回程度の研修に参加できる人。
- ・ 外国人の場合は、日本語の会話能力を有する。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (講師による養成講座) 8回、常設展示替えに伴う研修2回。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強会を実施 (月1回)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費のみ支給 (上限あり)。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 慰霊碑めぐりは最低でも1時間半かけたいが、実際はそこまで時間にゆとりがある人が少ないので、充実した案内ができないことが多い。
- ・ 公園内の慰霊碑めぐりは、多くの団体がボランティアとして活動しているため、お互いを思いやりながらの活動が必要となってきた。

◇その他

- ・

活動個別シート ③館の事業への参画

◇活動開始年

- ・ 1999年

◇活動人数

- ・ 168名(2005年4月1日現在)

◇活動内容

- ・ キッズ平和スクール参加者への館内案内及び公園内等の慰霊碑めぐり。
- ・ 中高生ピースクラブ参加者への館内案内及び公園内等の慰霊碑めぐり。
- ・ 市民のための見学会参加者への館内案内及び公園内等の慰霊碑めぐり。
- ・ ピースボランティア新人研修参加者への館内案内及び公園内等の慰霊碑めぐり。
- ・ 被爆体験記朗読会サポーター研修参加者への館内案内及び公園内等の慰霊碑めぐり。
- ・ ヒロシマガイド解説参加者への館内案内及び公園内等の慰霊碑めぐり。

◇活動日

- ・ 依頼をうけた時点で申し込みをはじめ。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ ボランティア室。
- ・ 館内連絡用PHS。

◇運営(シフト等)

- ・

◇交流(情報、組織等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 依頼を受けた時点で募集する。
- ・ 募集人数は毎回異なる。
- ・ 募集に関しては、朝夕のミーティングで各曜日に伝える。また、連絡会がある時は、その時に募集を募る。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 交通費のみ支給(上限あり)。

◇評価

- ・ わかりやすいと評判である。

◇課題と展望

- ・ メンバーが固定されている。

◇その他

- ・

.....

館園名 : ふくやま美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1988年11月03日

所在地

- ・ 〒720-0067 広島県福山市西町2-4-3

公式サイト

- ・ <http://www.city.fukuyama.hirosima.jp/fukuyama-museum/>

設立主体

- ・ 福山市

運営主体

- ・ 財団法人ふくやま芸術文化財団

設立目的

・

展示概要

- ・ 地域に根ざす美術館として、福山・府中広域市町村圏や瀬戸内圏の作家の作品、日本の近現代の美術作品、イタリアを中心とする20世紀ヨーロッパ美術などを収集展示。

活動概要

- ・ 企画展、講演会、館の貸し出し、友の会活動を実施。
- ・ 美術館ニュース、リーフレット、常設展目録を刊行。

延床面積

- ・ 7007.31 m²

全職員数

- ・ 17人

年間運営費

- ・ 281,717千円(2004年度予算)

総資料点数

- ・ 2130点(2001.3.31現在)

その他

・

2. ボランティア活動 名称：くすのき

活動目的・経緯

- ・ 1988年5月、活動開始。
- ・ 1999年、イベントグループが発足。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 77名（2004年）
- ・ 男性： 0名、女性： 77名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：管理課 担当人数：常勤 1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①案内受付、②情報整理、③広報、④常設展示説明、⑤友の会メイト、⑥イベントグループ。

活動その他

- ・ ボランティアにより運営。
- ・ 活動表を作成。
- ・ 館が、育成研修を実施。
- ・ 具体的な活動のための研修は、ボランティア相互で実施。
- ・ ボランティアどうしの共通認識を形成することが困難。
- ・ ボランティアという言葉に対する認識に相違がある。

関連する出版物

- ・ 「受のアーチ」（年4回）
- ・ 「ボランティアだより」（年1回）

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①案内受付

◇活動開始年

- ・ 1988 年

◇活動人数

- ・ 77 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 案内、受付、情報整理。

◇活動日

- ・ 毎日 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア運営会費として、年間 40 万円の予算。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 全員でローテーションを組んで担当。
- ・ ボランティアが活動できる日の午前 10 時～午後 1 時、または午後 1 時～午後 4 時に活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 曜日グループごとに親睦会。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 市広報誌 10 月 1 日号にて広報。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 11 月～3 月まで研修を行う。
- ・ 毎月 1 回程度、接遇、所蔵品・特別展のギャラリートークについて実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア活動保険に加入。

◇評価

- ・ 月に 1～2 度の受付当番のため、経験が重なっていない。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②情報整理

◇活動開始年

- ・ 1988 年

◇活動人数

- ・ 77 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 新聞の切り抜き (分野・ジャンル別)。

◇活動日

- ・ 毎日 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 全員でローテーション (受付当番と同じ) を組んで担当。
- ・ ボランティアが活動できる日の午前 10 時～午後 1 時、または午後 1 時～午後 4 時に活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 曜日グループごとに親睦会。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③広報

◇活動開始年

- ・ 1988年

◇活動人数

- ・ 77名(2004年)

◇活動内容

- ・ 年4回、会員向けの会報「愛のアーチ」を発行。
- ・ 年1回、館外の人向けの広報誌「ボランティアだより」を発行。
- ・ 館での講演会、ボランティアのための研修会を講演会集(レクチャーシリーズ)として残す。
- ・ 1995年には、来館者の要望に応じて市内の博物館・資料館・ギャラリーなどを掲載した「市外マップ」を制作(2年ごとに改訂版を作成)。
- ・ 2004年度から、毎月会員向けの「くすのき通信」を発行。

◇活動日

- ・ 週2~3日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ パソコン1台、取材用のカメラ・カセット各1台、グループ専用のロッカー、文具一式。

◇運営(シフト 等)

- ・ 全員で企画から印刷原稿作成まで取り組む(「ボランティアだより」は、外部に印刷発注をしている)。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ グループで他館見学をし、研修と親睦を兼ねている。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティア養成講座のグループ活動説明の際に、新人を勧誘している。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 全体のボランティア養成講座後、全体の定例研修。
- ・ 広報に関しては、活動を通して先輩から後輩に伝える。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入する。
- ・ 活動グループで他館見学する際には、年に1回入館料が出る。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 読みやすく、楽しい広報誌作りを目指している。

◇その他

- ・

活動個別シート ④常設展示説明

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 15 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ①小中学生の団体への解説、やさしいアートガイドを行う。
- ・ ②一般向けに、所蔵作品のやさしい解説を行う。

◇活動日

- ・ ①随時。
- ・ ②毎月第 2 土曜日 11:00～11:30 (2 名)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 必要な本の購入。
- ・ ハンドマイク。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 回り当番で (出来る時) 係を一年引き受ける。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ おたよりを月 1 回発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 自分の好みで任意加入。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 月 1 回、ボランティア相互で研修を行う (学芸員の指導を受けることもある)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ もう少し研修の機会を増やしたい。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤友の会メイト

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 99名(2004年)

◇活動内容

- ・ ミュージアムショップの補助。
- ・ 各種発送作業の補助。
- ・ 月1回発行の「おしらせ」を作り。

◇活動日

- ・ 月1~2回。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 個別のボランティア室あり。
- ・ グループごとのロッカーあり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 班に分かれて活動する。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 各グループでの他館見学。
- ・ 全体ボランティアと一緒に他館見学。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 任期1年。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 学芸員が、月1回研修を行う。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 毎年、本部の役員を決めるのに難航している。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥イベントグループ

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 24 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ミュージアムコンサートの補助を行う。
- ・ オープニングへの支援。
- ・ 研修旅行の企画

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ オープニングは、2 グループに分かれる。
- ・ コンサートは 5～6 人で行う。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 他館研修、グループ会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 人数が適性でない。
- ・ 内容を充実させていきたい。

◇その他

- ・